

木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター

TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(23年12月分)

1. 調査実施期間 平成23年 11月20日 ~12月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

12月分の回答企業数は36社、回収率は85.7%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

$$\text{Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス)} = \{(\text{「増加」の評価を行った回答の割合}) \times 2 + (\text{「やや増加」の評価を行った回答の割合}) - (\text{「減少」の評価を行った回答の割合}) \times 2 - (\text{「やや減少」の評価を行った回答の割合})\} \div 2$$

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		23/12月	24'1月	24/2月
仕入動向	国産材	-14.8	-20.4	-9.3
	外材	-11.8	-13.2	-7.4
販売動向	国産材	-22.2	-16.7	-13.0
	外材	-10.0	-10.3	-8.8
在庫動向	国産材	-15.4	-17.3	-13.5
	外材	-15.6	-25.0	-7.8

仕入れは、先行き不透明感もあり、国産材、外材ともマイナス基調だが、2月に向けマイナス幅縮小。販売も国産材、外材ともマイナス基調だが国産材のマイナス幅が大きい。2月に向けマイナス幅縮小。在庫は、国産材、外材とも先行き不透明、一部先安感もあるためマイナス基調で推移。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	23/12月	24'1月	24/2月
スギ正角(グリーン)	-5.3	-5.3	-2.6
スギ正角(KD)	-2.5	-5.0	-2.5
ヒノキ正角	0.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ正角(現地挽)	-9.1	-4.5	0.0
米ツガ防腐土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物(現地挽)	-2.5	-2.5	0.0
米マツ平角	-14.7	-5.9	0.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	-5.0	0.0	0.0
ホワイトウッド集成管柱	-32.5	-12.5	-5.0
レッドウッド集成平角	-16.7	-11.1	-8.3
型枠合板(輸入)	-5.9	0.0	0.0
針葉樹構造用合板	-8.8	-5.9	-8.8
針葉樹構造用合板(厚物)	0.0	3.3	0.0

スギ正角(グリーン、KD)は小幅なマイナスで推移、ヒノキ正角、土台は、引き合いに変化なく横這い。米ツガ正角(現地挽)、割物ともやや弱含みが2月に向け保合いに、土台は横這い。米マツ平角は、マイナス基調で、やや弱含みだが、2月に向けて回復。北洋アカマツタルキは、やや弱含みが保合いに。WW集成管柱、RW集成平角とも輸入増により弱含みだが、2月に向けマイナス幅縮小。合板は厚物は保合い、輸入、構造用はやや弱含みも、輸入は年明け回復。

1. 荷動き	
仕入れ動向	<p>米マツ一般材丸太は、米材 11 月積み値は中国の買い控えから中国向けローグレードは若干下げた様子。カナダ材のオールド材は強含みだが中国向けローグレードは弱含み推移。(東京：米材問屋) 年末ギリギリまで若干入荷あるものの焼け石に水。(東京：米材問屋) 国産材の仕入れは納期がかかる。外材は全体的に相場弱保ち合い。(東京：集成材等問屋) 先行き不透明感あり仕入れも様子見。(東京：外材問屋)</p> <p>荷動きあまり良くないが 11 月のセールに向けて仕入れ増。(東海：外材問屋)</p> <p>産地は雨期入りし、今後の原木量は減少傾向だが、年内分の材料は確保しているとのこと。産地価格は強含み。(東京：南洋・中国材問屋) ラワン材は久しぶりに入荷があった。旧正月までは、徐々に入荷増と思う。(東京：南洋・中国材問屋) 原木多少増え、これから入荷増が期待できそう。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>先安感があり、積極的仕入れできず当用買い。(東京：国産材問屋) 製材所の減少で供給は減っている。良材は積極的に仕入れた。(東京：国産材等問屋) メーカーは手持ち原木少なく納期がややかかるようになった。(東京：国産材問屋)</p> <p>アカマツタルキ下のグレードの品不足を感じる。(東京：仲買・小売)</p> <p>年末にかけてもほとんど変化なし、やや弱含み。(大阪：仲買・小売)</p>
販売動向	<p>入荷減、在庫減少を訴えても売り先の反応今ひとつ。(東京：米材問屋) 米マツ一般材丸太は京浜マーケットではカスケード材にメーカーからの引き合い活発化し、問屋のカスケード系丸太はほぼ一掃。白系丸太はスプールの不足感は解消されず、問屋の手持ちも全く無い。(東京：米材問屋) 先行き不透明感あり販売も様子見。(東京：外材問屋) 12 月からは販売鈍くなると思われる。(東京：集成材等問屋)</p> <p>相変わらず動き悪くホワイトウッドの下落が心配、よって皆、在庫を持たない。(東海：外材問屋) 1 月のセールに期待するも価格が弱くなっているのではやや不安。(東海：外材問屋)</p> <p>相変わらず細かい注文が多く手間の割に利益は出ない。(東京：南洋・中国材問屋) 先月に比べ見積もり増えているが、なかなか決まらない。(東京：南洋・中国材問屋) 当初は在庫補充のため販売増、その後は？(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>国産材不振続く。既製品に寄りつき低迷。価格ではなく需要乏しい。(東京：国産材問屋) 12 月に入り動かない。(東京：国産材問屋) 荷動き不振。台風等で供給サイドの生産量が減少し、値下がり食い止めている。(東京：国産材問屋) 今年は仕舞が早そう。(東京：国産材問屋) 仕事は細かいが価格そこそこで売れる。(東京：国産材等問屋)</p> <p>外材の動きが良い。(東京：仲買・小売) 秋口から急激に荷動き悪化。(東京：仲買・小売) 11 月に売り上げが対前年比半分になり、12 月も同様。1 月も稼働日数が少ないことから期待できない。(東京：仲買・小売) 国産材、外材ともまとまった荷動きがあまりない。営業に馬力を掛け、新規開拓に挑戦。(東京：仲買・小売) 来年は廃業か。(東京：仲買・小売)</p> <p>今年は荷動きがパツとしない 1 年でした。(東海：仲買・小売)</p> <p>今月は新築物件及びリフォームが有り、少し忙しくなりそう。(大阪：仲買・小売)</p>
在庫動向	<p>米マツ丸太カスケード材の荷動き好転を受け問屋の手持ち在庫は減少しているもののコースト材は依然荷動き鈍く在庫目立つ。(東京：米材問屋) 在庫の減少傾向は来春まで続く見込み。(東京：米材問屋)</p> <p>今月から減らす方向。(東京：集成材等問屋)</p> <p>在庫増。(東海：外材問屋)</p> <p>アカマツ FJL の在庫多かったが在庫調整し平常になった。(東京：南洋・中国材問屋) 11 月から 12 月上旬に入荷があったので以前ほどの欠品は無いが、今後の入荷は産地事情で不明確なため来年以降は判らない。(東京：南洋・中国材問屋) やや減少傾向。(東京：国産材等問屋) 先安感があり在庫できず。(東京：国産材問屋)</p> <p>年配者は多めに、若手は少なめに在庫を持ちたいが、その時々に合わせて効率的。(東京：仲買・小売)</p>
2. 価格動向	
スギ正角	<p>気持ち安い傾向あるが構造材はだめ。(東京：国産材問屋) 丸太高止まり、若干の修正あるも原木高の製品安。(東京：国産材問屋)</p>
ヒノキ正角 土台角	<p>ヒノキ材は相変わらず引き合いが無い。(東京：国産材問屋)</p> <p>変化なし。(東海：外材問屋)</p>
米ツガ	<p>変化なし。(東海：外材問屋)</p>
米マツ平角	<p>集成材 が安くなっているため価格弱い。米マツ割物の輸入品が少ない。(東海：外材問屋)</p>
北洋アカマツタルキ	<p>横ばい。(東海：外材問屋)</p>
WW・RW 集成材	<p>今月入荷の先物が安くなっているため、国産の柱、平角下落。管柱 1,600 円/本、平角 51,000 円/m³。(東海：外材問屋)</p> <p>欧州材は弱保ち合いだが、納期は多少かかる。(東京：集成材等問屋)</p> <p>輸入材も増加傾向で一服状態、価格は弱い。(東京：国産材等問屋)</p>
合板	<p>価格が下がらない。(東海：外材問屋)</p> <p>輸入合板は川上は上がっているかもしれないが、需給バランスで市場はどうなるか？(東京：仲買・小売) 針葉樹 9mm・12mm の 3×6 の下げは止まったが厚物はまだ弱い。(東京：仲買・小売)</p> <p>震災前より高い所で落ち着いている。(大阪：仲買・小売)</p>